

令和7年度 小金井市立東小学校 第3回学校運営協議会 記録

令和7年9月25日

午後2時30分～ 会議室

○出席 14名中11名参加 委員の過半数の出席により本会は成立

○同席 学校教員5名

1 会長挨拶

- ・2学期はいろいろな行事があります。
- ・暑い日が続いていましたが、ようやく落ち着いてきました。

2 校長挨拶

- ・前回の協議会では、教育目標について様々なご意見をいただきました。今回、新たな案を提案させていただきます。
- ・学校評価では、児童自己評価（達成目標）と教職員自己評価（努力目標）を行いました。本日は、それを基に学校関係者評価をお願いいたします。
- ・学習発表会が2週間後になります。学習発表会は2回目ですが、発表の方法が前回と異なります。全学年とも各教室で発表し、聞く側も質問をしたり感想を伝えたりするといった交流を図ります。お時間があれば見に来てください。
- ・11月に行う研究発表会は、教育関係者に向けて発表します。現在準備中です。児童が主体となって問題を見いだし、解決していく力を育成する授業を実践しています。
- ・「科学の祭典」では、東小が5作品中3作品入賞しました。様々なところに研究実践の成果が表れてきています。

3 自己評価・学校関係者評価【中間まとめ】について（協議）（資料2）

【学校や生活に関するアンケート】児童に実施。

- ・「8割以上が肯定的な解答の項目」がほとんどであるが、8割をわずかに超えた程度の項目もあるので改善していきたい。

【自己評価・学校関係者評価（中間まとめ）】

- ・成果目標→児童・保護者、努力目標→教員が評価

授業変革の推進

- ・学習の流れを示したフローチャートやノートの書き方について教室に掲示したり、ワークシートを選択できるようにしたりして具体的な手立てを工夫した。
- ・「学習内容と日常生活とのつながり」では、単元の始めや終わりに学習内容が自分たちの生活と関連していることを意識できるようにしている。例えば、6年生では、単元の終わりに学習したことを生かして、キャンプファイヤーの木の組み方を考えた。1年生でも授業で公園探検をした後、放課後に遊びに行く姿が見られた。
- ・学力調査の平均が都や全国よりも上であり、「根拠をもって説明する」項目では15%以上も上回っていた。

【学校関係者評価】

- ・各教室にフローチャートが掲示しているということであるが、学年によって、掲示物に違いはあるのか。
→フローチャートは、生活科や理科、生活単元学習でそれぞれ違う。理科は、中学年と高学年のものがある。ノートの書き方の例は、学年に合った内容を掲示をしている。
- ・学習したことを日常生活に生かすことについて、休み時間に虫網をもって校庭で虫を探している姿が見られる。学習したことが日常生活につながっている。
- ・南校舎廊下での掲示がとてもよい。

子どもの権利の尊重

- ・6年生に「子どもオンブズパーソン」を実施するなど、子どもの権利に関する教育を発達段階に応じて行っている。児童自ら自力解決しようとする姿が見られる。相談窓口の紹介やSOSの出し方など、2学期のはじめに重点的に指導を行った。
- ・自分から主体的に挨拶できる児童が増えてきた。後から挨拶を返すことは、ほぼ全員できている。

【学校関係者評価】

- ・挨拶について、昔遊びや栗山公園へのボランティアに入ったが、児童が緊張していることが伝わる。もっと距離感が近くなると自然に挨拶ができるようになるのではないかと感じた。
- ・週5日「かしの木」を開いてくれているのはありがたい。
- ・各学年の廊下に掲示している作品については、「ただいま制作中」と貼ってあつたり台紙だけだったりクラスや学年によって差がある。
→今後、各学級目立たないよう配慮していく。

地域との協働の推進

〈学校だより・学年だより・メール配信〉

- ・学校だよりや学年だよりでは、行事だけでなく日頃の活動も多く掲載している。
- ・まなびポケットやホームページでも積極的に児童の様子を発信している。

【学校関係者評価】

- ・今までメールだと埋もれていて気付かなかつたが、まなびポケットになったことで、学校からの配信が分かりやすくなつた。また、以前に来たお知らせが探しやすくなつた。
- ・天候不良による下校時刻変更の連絡も非常に助かつた。
→まなびポケットは、保護者の既読と未読の数が分かる。だいたい870件中100件ほどが未読である。今後、既読率が上がるとよい。
→夫婦で入っていることもあるので両親のどちらか見てている場合もあるのではないか。

〈地域との連携〉

- ・各学年で、地域人材を活用して授業を行っている。二学期以降も継続する。
- ・PTAと今年発足したボランティア組織「ねこの手クラブ」の協力により運動会などを円滑に進めることができている。

【学校関係者評価】

- ・「ねこの手クラブ」の人数は、発足時60名登録、2学期10名追加で、現在71名。今後、6年生の保護者が中学校へ進学しても残ってくれるとよいと思っている。
- ・ねこの手バッチを名札に付けることで、「ねこの手クラブ」をアピールし、ボランティアを増やしたい。
- ・学校公開でも卒業生がたくさん来ていた。卒業後もつながりがあるのがよい。東中学校からのボランティア活動ありがたい。

特色ある学校づくり

〈情報教育〉

- ・タブレット型パソコンを活用した学習については、児童が操作に慣れてきている。今後は今まで以上に情報モラルを指導することが大切となる。今年度から各学期に1回情報朝会を実施している。

【学校関係者評価】

- ・ネットトラブルでは、家庭で友達間のトラブルがあっても学校に解決を求めてくる。家庭と協力していく必要がある。
- ・学校が情報モラルに関する指導を計画的に行ってくれるのはありがたい。

〈体力づくり〉

- ・体力調査を基にした取組やなわとび甸間の実施、外遊びの奨励などを行っている。しかし、今年は暑さがひどく、夏はほとんど外遊びができなかった。運動委員会では、課題に応じた運動が提案できるよう話し合っている。

【学校関係者評価】

- ・体力調査のボランティアをしたが、ボール投げができない。どのように投げてよいか分からぬ児童や、ボール投げを経験しないで入学してくる児童が多い。低学年の児童にとって体力調査で使用しているソフトボールは大きすぎるようだ。
- ・「運動が好き」だが、「毎日運動している」が少ない。習慣化する取組を行ってほしい。
- ・地域でもボール遊びをしてはいけない公園も多いため、ボールを投げる経験が少ない。横を向いて投げることができない児童が多い。
→アンケートを採った時期も影響していると思う。暑くて外に出られる機会が少なかった。ようやく涼しくなって休み時間も校庭で遊べるようになった。遊びも運動のうちにいるが、児童が運動として意識していない可能性がある。ボールの投げ方は事前指導が必要と考えている。
- ・中庭も開放し、ボールを投げる用具が設置してあるが、中庭でのキャッチボール教室は、暑さのため今は休止している。

〈たてわり班活動〉

- ・たてわり班活動では、それぞれの学年に応じて、楽しく活動できている。
- ・委員会集会では、児童が自分たちの言葉で発表するようになってきた。2学期は、SDGs委員会が、各委員会のハチドリプロジェクトを紹介する予定である。

【学校関係者評価】

- ・たてわり活動は、それぞれの学年が役割を全うしている活動になっている。これからも継続してほしい。
→以前は朝の15分間で実施していたが、あまり活動できなかった。中休みと読書の時間の30分間利用することで充実した活動になった。

〈対話〉

- ・授業では、質問の話型を示して対話の向上を目指している。

【学校関係者評価】

- ・昔に比べて対話が進んでいると感じている。
→児童が問題を自ら見いだし、グループで話し合う場面を多く設定している。話すことが好きな児童が多くなった。
→グループやペアで話し合うと自信がつき、挙手して全体に発表することができる。
大勢の前では発表できなくても、少人数の中では発言することができる。
- ・挨拶ができない児童に対して友達がフォローしている場面があった。
- ・5年生の防災学習では、グループワークをする中でゲストティーチャーにいろいろな質問をしていた。話すことに関しての抵抗感が少なくなってきた。

4 教育目標について

- ・前回の協議会でとてもたくさん良い意見をいただいた。
- ・上の段は、現在の教育目標、下の段は、新たな教育目標案となる。
- ・前文は、児童の実態を大切にした。
- ・目指す児童像について、児童が覚えていられるのは3つ程度なので、3つにした。
- ・「元気な子」を「すすんでする子」に変更。挨拶など、言われてやるのではなく自主的にできるようになってほしい。「元気な子」「すこやかな子」は、今もある程度達成できている。
- ・（　）は、類似する内容の別の案として入れてある。
- ・今までの「目指す児童像」は、豊かな人間性を目標としており、新しい「目指す児童像」は、主体的に考え、行動する児童を目指す。
- ・自分を大切にして、自己肯定感を高めることも大切。

【教育目標（案）について全員挙手で成立】

→来年度から新しい教育目標になる。

5 子ども防災体験会について

- ・今年で4年目、だんだん根付いてきたが、児童の参加が思わない。
- ・地区委員で、お菓子ポシェット作りをする取組を計画している。実際の避難所では、児童が避難所で支給される物を食べられないことがある。普段食べ慣れたものをお菓子ポシェットに入れて家庭に常備してもらうことをねらいとしている。
→参加者が増えるようにしていきたい。

6 1学期の東小地域学校協働活動進捗状況について

- ・5年生の地域の防災倉庫の見学（教員がオンラインにて対応）

- ・1年生に向けて、登下校の見守りや給食準備など、様々な場面でボランティア活動を行った。
- ・研究発表会のボランティアは、PTAと「ねこの手クラブ」で募集中。ひまわり学級のお店屋さんのお客さん役、受付、新小金井駅と東小金井駅からの誘導など、今後学校と打ち合わせを行う。
- ・わんわんパトロールは、9月から募集。犬の散歩をしながらパトロールし、児童の見守りをする。東京都小金井警察にボランティア登録。
- ・2年生かけ算九九検定補助のボランティアは、平成26年度から続いており、今年で12年目。
- ・PTAとの連携もうまくできている。PTA活動で大変と感じていることのお手伝いをしたい。

7 事務連絡

- ・資料の訂正 第4回開催 午後3時30分～5時
- ・学校運営協議会の予算は12月中に決定。熟議用の備品（付箋、ペン）など、文房具関係の消耗品を購入する。
- ・市内の学校ではトイレが臭い、校舎の老朽化で匂いが逆流、配水管汚水管の劣化などの実態がある。本校では、PTAで、消臭剤など設置。
- ・体育館の舞台幕を購入。
- ・体育館舞台部分で雨漏りあり。

8 副会長挨拶

- ・学校評価にご意見いただきましてありがとうございました。これからも児童のために学校環境が良くなるとよいと思います。次回またよろしくお願いします。